

たてもの こうきょうこうつう
[建物・公共交通]

	ない 内	よう 容	かい 改	ぜん 善	ほう 方	さく 策	しょうがいしゅべつ 障 害 種 別
1	いざかや 居酒屋などで、	くるまいす 車	はい	ぱりあふりー 入る	みせ 店		
	あつとうてき 圧倒的に	すく 少ない。					
2	たくしーの タクシー乗り場や	ばみち 道	たくしー の	くるまいす 車椅子と	わ		したい 肢体 (支援者)
	かれば 乗	じょうしゃきよひ 車拒否	される。				
3	ちてきしょうがいしゃ 知的障害者が	ばす バスに	じょうしゃちゆう 乗車中、	おおごえ 大声を出した	だ さい	さい	ちてき 知的
	うんでんしゅ 運転手が	ど 「もう2度と乗るな!」	つぎ 「次からは親と来い」	おや などと怒鳴	こ りつけた。	どな	
				こうつうきかんかくしゃ 交通機関各社の	ぱりあふりー バリアフリーや	しょくいん 職員	
				しどう 指導への	とりくみ 取組を	ぎょうせい 行政が	
				まどぐち 窓口や	だいさんしゃいいんかい 第三者委員会を	せっち 設置。	
				わる 悪い事例	じれい		
				こうかい を公開。			
4	えきいん 駅員が	くるま 車の	いすの 人が	うなずく うなずくなどして	こた 答えて		
	かいじょしゃ 介助者	む む	はな 話しかける。				
5	ちょうかくしょうがいしゃ 聴覚障害者は	でんしゃ 電車の	しゃないほうそう 車内放送が	き 聞こえず、	お 降りたい		ちょうかく 聴覚・
	えき 駅が	わからない。 たまに	ドアの上	に	ほそなが 細長い	えきしょうけい 液晶	へいこうきのう 平衡機能
					あ あ	うえ うえ	
					かくどあ かくどあ	うえ うえ	
					つけてほしい。		
6	くるまいす 車	いすに イスに	かた 乗った	方が	こうえん 公園に	あそ 遊びに	したい 肢体 (支援者)
						い い	
						さい さい	
						みち みち	
						じゃりみち じゃりみち	
						道が	
						砂利道	
						すろーぷ すろーぷ	
						をつく をつく	
						スロープ	
						を作る。	
7	コンビに コンビニは	たくさんあるが、	自動ドアのある	店、	段差のない	店、	したい 肢体

	しんしょうしゃよう といれ みせ じゅうぶん 身 障 者 用 の トイレ の ある 店 は まだ まだ 十 分 に ない。		
8	い みせ ごらくしせつ かいだん はい 行きたい 店 や 娯 楽 施 設 に 階 段 が ある た め 入 る こ と が で き ない たてもの おお 建 物 が 多 す ぎ る。		したい 肢体
9	えれべーたー せま くるま とびら し エレベーターが狭く、 車 いすがつかえて 扉 が閉まらない。		
10	しょうがいしゃまーく な とき といれ でいり 障 害 者 マー ク が 無 い 時 の トイレ の 出 入 。		
11	えれべーたー くるま といれ おく エレベーターがないので、 車 いすでいけない。 トイレも奥にある つか ので使いにくい。 音 が漏れるのでいやだ！		
12	でら だんさ えみ お 寺 に 段 差 が あ っ て 、 ふ す ま 絵 が 見 ら れ ない 。		
13	こうきょう かいぎ おこな しせつ じきるーぷ じょうほうほしょう 公 共 の 会 議 な ど を 行 う 施 設 に 磁 気 ルー プ や 情 報 保 障 しえんきき せっち な なんちようしゃ かつよう 支 援 機 器 の 設 置 が 無 く 、 難 聴 者 は 活 用 で き ない 。	こうみんかん ろうじんほーむ じきるーぷ 公 民 館 、 老 人 ホー ム な ど に 、 磁 気 ルー プ や ようやくひつきよう きざい せっち ほ 要 約 筆 記 用 の 機 材 を 設 置 し て 欲 し い 。	ちょうかく へいこうきのう 聴 覚 ・ 平 衡 機 能
14	くるま といれ かぎ 車 いすトイレにカギがしまっている。		
15	はい みせ かいだん はい 入 り た い 店 が あ っ て も 階 段 が あ っ て 入 れ ない 。		
16	ゆにばーさるといれ い だれ つか といれ ユニバーサルトイレと言っているわりに 誰 でも 使 える トイレ が 1 つ しかなかったり、 場所 が 限 ら れ て いる 。 最 近 は トイレ に 困 る 。		
17	くるま といれ りよう 車 いすトイレがせまくて利用できないことがある。		
18	だいがく なか くるま ようといれ て こてい 大 学 の 中 に 車 いす 用 トイレ が あ る が 、 手 す り が 固 定 さ れ て い つか て、 ず ご く 使 い に く い 。		

19	<p>もっと海外のように、トイレや施設など、使いやすいものを整備するべき。</p>		
20	<p>公園の車いすトイレに鍵がかかっている、管理会社に電話をして何十分も待たないと開けてもらえなかった。</p>		
21	<p>エレベーターがせまくて入れないことがある。</p>		
22	<p>雑居ビルで、エレベーターは車イス対応だが、エレベーターに行くまでのドアが自動ではなく、閉められたままとなっていた。</p>		
23	<p>ファミレスとか、2階に入口があることが多い。入口が入れなくても、中に入ってから階段があるという店もある。</p>		
24	<p>レストランの2階が食事スペースでエレベーターがないため、車イス利用者は上がれない。</p>		
25	<p>段差があるお店には入店不可能。お店自体も車イスの幅より狭かったり、Uターン出来ない形では、入店不可。</p>		<p>したい 肢体 ほんにん かぞく (本人と家族)</p>
26	<p>バリアフリーになっていない公共施設が多く、我々当事者が利用出来やすい環境の整備。</p>		<p>したい 肢体</p>
27	<p>投票の時に投票所に段差があつて不愉快な思いをした。</p>		
28	<p>バスに乗ろうとしたとき、階段のバスで、車いすだったので、乗れなかった。</p>	<p>どの時間帯でも、電話せずノンステップバスのに乗れたらいい。</p>	<p>したい 肢体 せいしん 精神</p>

29	せいしん でんしゃ わりびき 精神は電車の割引はない。		せいしん 精神
30	でんしゃ せいしんしょうがい りゆう わりびき 電車は精神障害を理由とする割引がない。うつの時など しんどいのになぜか？		せいしん しえんしゃ 精神（支援者）
31	たんどく じょうしゃ ばあい でんしゃ じょうしゃ きろいじょう 単独での乗車の場合、電車の乗車が101キロ以上で わりびき ないと割引にならない。		
32	こうつううんちん せいしんしょうがいしやてちょう わりびきせいど 交通運賃について、精神障害者手帳では割引制度は りよう おお 利用できないことが多い。		せいしん しえんしゃ 精神（支援者）
33	でんしゃ い さき じょうほう でんこうけいじ しかくてき 電車でのこと、行き先などの情報が電光掲示など視覚的 ほしょう ばあい き しゅうちやくえき に保障されていない場合があり、気づくと終着駅であった。		ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能
34	ばす じょうしゃ さい しょうがいしやてちょう ゆうこう わ バスに乗車した際、障害者手帳が有効かどうか分か うんてんしゅ おお かん っていない運転手が多いと感じる。	ばす うんてんしゅぜんいん しょうがいしやてちょう バスの運転手全員に障害者手帳 こうりょく くわ しどう の効力について、詳しく指導。	しかく しえんしゃ 視覚（支援者）
35	えきほーむ えれべーたー いどう すく おな ばしょ 駅ホームのエレベーターは、移動が少なくすむよう、同じ場所を きぼう えれべーたー いっぱん かた さき の くるまいす ベビーカー かたがた ま の方々が待たされる。		したい 肢体
36	ばす の しょうがいしやてちょう み いや かお バスに乗っていて障害者手帳を見せると嫌な顔をされた		せいしん しえんしゃ 精神（支援者）
37	たくしー じょうしゃ さい うんてんしゅ いや かお まど タクシーに乗車した際に運転手にイヤな顔をされ、窓を にお しーつよご い あけられたり、「臭いがする!!」「シーツ汚さんといてや」と言われた。 たくしーま じゅんばん の まえ はっしや タクシー待ちで順番がきたのに、乗る前に発車された。		したい 肢体

38	くるま しょうしゃ たい ばす じょうしゃきよひ じょうしゃ 車 いす使用者に対するバスの乗車拒否がある。乗車の さい かいじょ おこな ばすてい くるま しょうしゃ ま 際に介助を行わない、バス停で車いす使用者が待っていて ていしゃ も停車しないなど。	こうつうきかんかくしゃ ぼりあふりー しょくいん 交通機関各社のバリアフリーや職員 しどう とりくみ ぎょうせい かんとく くじょう 指導への取組を行政が監督。苦情 まどぐち だいさんしゃいいんかい せっち わる じ 窓口や第三者委員会を設置。悪い事 れい こうかい 例を公開。	したい 肢体
39	ばす の バスに乗ろうとしたとき、運転手があからさまに嫌な顔をした。		したい しえんしゃ 肢体（支援者）
40	むじんえき かいさつぐち よ だ べる ちょうかくしょうがいしゃ 無人駅の改札口、呼び出しベルがあるが聴覚障害者は つか 使えない。		ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能
41	えき どうちゃくほーむ くるま ひと こうれいしゃ しかく 〇〇駅の到着ホームで、車いすの人、高齢者・視覚に しょうがい ひとたち こま 障害のある人達が困っている。		しかく 視覚
42	せん ごうしゃ ところ すわ どあ せま くるま 〇〇線で11号車の所しか座れない。ドアが狭い。車い とお すだと通れない。		
43	たくしー じょうしゃきよひ もうどうけん とく タクシーの乗車拒否。盲導犬など特に。		しかく 視覚
44	ばす うんてんしゅ すろーぷ ばしょ し くるま と バスの運転手がスロープの場所を知らないし、車いすを止める べると けんしゅう ベルトをしない。研修がされていない。		
45	えき といれ すこ せま 駅のトイレが少し狭い。		
46	えれべーたー いちまいいた しょうこうき でんしゃ の おく エレベーターが一枚板になる昇降機のため電車に乗り遅 れた。		

47	でんどうくるま の えきいん てちょう み い 電 動 車 いすに乗っているのに、駅 員に手 帳 を見せろと言わ れる。		したい 肢体
48	くるまいすかいじよ せん の とき ほーむ で 車 イス介 助をして〇〇線に乗ろうとした時、ホームに出るまで に、相 当 遠 回りをする裏 道を案 内され、エレベーターも荷物 を運 搬するよな仕様だった。		
49	い くるま しゃりょう かえ しゃない くるまいす 行きは 車 いす 車 輛があつた。帰りの車内は 車 イスさえ とお 通れず、お 客 さんが降りるたびにホームに降ろされた。		
50	むかし ばす うんでんしゅ の 昔、バスの運 転 手に乗せてもらえなかった。		
51	ばす うんでんしゅ さぼーと ねが きよひ バスの運 転 手にサポートお願いしたが拒否された。		
52	ばす うんでんしゅ と ていりゅうじよ あなうんすほうそう バスの運 転 手さんが、停まる 停 留 所 とアナウンス放 送が、 ちが 違っていたので、おお 大きな声で間違っていると言ったらしかられた。		
53	えれべーたー せっち えき エレベーターの設置されていない駅がまだある。		
54	ちかてつ こうきょうこうつうきかん い 地下鉄など公 共 交 通 機 関ではいちいちどこまで行くのかなど、 よけい 余計なことを言わないといけない。		
55	でんしゃ えきいん いた ねが ひと 電 車で駅 員に板 をお願いしたら、つきそいの人 でいけるだろ うと言われた。		
56	ばす うんでんしゅ すろーぷ バスの運 転 手がスロープをだすのをめんどくさそうにする。		
57	えき くるまいす ほーむ 〇〇 駅は 車 イスでホームにいけない。		

58	<p>てつどうとう まちあいしつ くるまいす しょう 鉄 道 等 の 待 合 室 は、 車 イ ス で は 使 用 で き な い。</p> <p>えき ほーむ えれべーたー こしょう しゅうりちゅう べつ ほーむ 駅 の ホー ム の エレベーター が 故 障 し て 修 理 中 。 別 の ホー ム</p> <p>つ でんしゃ ま じそうしき くるまいす えきかかりいんそうで に 着 く 電 車 を 待 っ た 。 自 走 式 の 車 イ ス な ら、 駅 係 員 総 出 で</p> <p>も あ でんどうくるまいす 持 ち 上 げ て も ら う が、 電 動 車 イ ス で は そ う は い か な い。</p>		<p>したい 肢 体</p> <p>ほんにん かぞく (本 人 と 家 族)</p>
59	<p>くるまいすせき していけん こうにゆう でんどうくるまいす 車 イ ス 席 の 指 定 券 を 購 入 し た が、 電 動 車 イ ス で</p> <p>じょうしゃ ひとり きゃく せま つうろ くるまいす 乗 車 し た と き、 一 人 の 客 に、『こ ん な 狭 い 通 路 に、 車 イ ス で</p> <p>じゃま めいわく い ジャマ、 迷 惑 だ』 と 言 わ れ た。</p>		<p>したい 肢 体</p> <p>ほんにん かぞく (本 人 と 家 族)</p>
60	<p>こうそくどうろ しょう しゃわりびき しょう 高 速 道 路 の 障 が い 者 割 引 に つ い て、 そ れ ぞ れ の 障 が い に あ</p> <p>かたち せいげん かくだい とうきゅうはんてい げんじょう っ た 形 で 制 限 ・ 拡 大 す べ き。 等 級 判 定 で は な く、 現 状</p> <p>せいかつじょうたい はんたん の 生 活 状 態 か ら 判 断 す べ き。</p>		<p>したい 肢 体</p> <p>ほんにん かぞく (本 人 と 家 族)</p>
61	<p>こうそくばす くるまいす の じょうしゃでき 高 速 バ ス は 車 イ ス に 乗 っ た ま ま で 乗 車 出 来 な い。</p> <p>ろじょうちゅうしゃ ろじょうちゅうりん ほどう せんきょ かんばん 路 上 駐 車 ・ 路 上 駐 輪 ・ 歩 道 を 占 拠 し て い る 看 板 ・</p> <p>みち ふさ ある た ばなし ひとびと ほどう もう 道 を 塞 ぐ よ う に 歩 い た り、 立 ち 話 を し て い る 人 々 。 歩 道 を 猛</p> <p>すぴーど はし き じてんしゃ ス ピー ド で 走 り 去 る 自 転 車 。</p>		<p>したい 肢 体</p> <p>ほんにん かぞく (本 人 と 家 族)</p>
62	<p>えき じょうしゃ まえ くるま かた あと い さべつ 駅 で 乗 車 す る 前 に 「 車 い す の 方 は 後 で す 」 と 言 わ れ 差 別</p> <p>う ばす くるま じょうしゃ ほか きゃく めいわく を 受 け た 。 バ ス で 「 車 い す で 乗 車 さ れ る と 他 の 客 に ご 迷 惑</p> <p>じょうしゃ くだ ことわ に な る の で、 乗 車 し な い で 下 さ い 」 と 断 ら れ た。</p>		

63	<p>でんしゃ の か にもつあつか 電車を乗り換えるときに、荷物 扱 いされた。</p> <p>ばす じょうしゃ うんてんしゅ じょうしゃいし つた バスに乗 車 するとき、運 転 手に乗 車 意思を伝えたのに、</p> <p>むし きよひ 無視され拒否された。</p> <p>たくしー じょうしゃ ねが しーと よご しょうばい タクシーに乗 車 をお願いすると「シートが汚れ 商 売 になら</p> <p>ことわ ない」と断 られた。</p>		<p>したい 肢体</p>
64	<p>たくしー の ぎょうせい ちが わり タクシーに乗ったとき、行 政 が違 うので、1 割してもらうのに</p> <p>すごくいやだった。</p> <p>ばす の かいだん ばす くるま の バスに乗ろうとしたとき、階 段 のバスで、車 いすだったので、乗</p> <p>れなかった。ばす うんてんしゅ わる ひと バスの運 転 手で、あいそうの悪 い人がいた。</p>	<p>ふつう たいおう 普通に 対 応 してほしい。</p> <p>じかんたい でんわ のんすてっぷばす どの時間 帯でも、電話 せずノンステップバス</p> <p>の に乗れたらいい。</p>	<p>したい 肢体</p> <p>せいしん 精神</p>
65	<p>たくしーうんてんしゅ わたし き かみ か タクシー運 転 手に「私 は聞こえない。紙 に書いてください」</p> <p>たの き まえみらー み と頼 んでも聞いてくれない。前 ミラーを見ながらしゃべる。</p>		<p>ちょうかく へいこうきのう 聴 覚 ・平 衡 機 能</p>
66	<p>ばす うんてんしゅ さべつ うんてんしゅや バスの運 転 手に差別された。「あなたは運 転 手 辞めたら？」と</p> <p>い 言 っ て や っ た。</p>		
67	<p>えきいん さけ の なんかい い 駅 員 から「また酒 を飲 んできたか」と何 回 も言 わ れ た。</p>		
68	<p>ちかてつ かいじょへるばー つ とき りようしゃ 地下鉄などを介 助 ヘルパーに付 かせ てもら っ て いる 時、利用 者</p> <p>かた さき はな い さき き ぼく えきいん はな の 方 に 先 に 話 し (行 き 先 など) を 聞 か ず に、僕 に 駅 員 が 話 し</p> <p>か け て き た。</p>		
69	<p>ばす なか となり しょうがいしゃ せき た バスの中 で 隣 に 障 害 者 が よ る と 席 を 立 つ。</p>		

70	<p>ばす なか おお こえ きやく ちかてつ の バスの中で大きな声でお客さんに地下鉄に乗ったらいいじゃないかと言われた。</p>		
71	<p>えきいん い き 駅員さんが「どこ行く」などいちいち聞いてくる。</p>		
72	<p>くるま ひと すわ なんにん なんだい かぞ 車いすに人が座っているのに「何人」ではなく「何台と数える」(地下鉄の駅員)</p>		
73	<p>ばすてい いちばんまえ ま ほか ひと さきの まんしゃ バス停で一番前で待っていたが、他の人が先に乗って満車になってしまい、車椅子の乗るスペースが無くなった。</p>		<p>したい 肢体</p>
74	<p>たくしー うんでんしゅ しょうがいしゃてちょう くわ き タクシーの運転手から障害者手帳について詳しく聞かれた。</p>		<p>せいしん 精神</p>
75	<p>しょうがいしゃよう ちゅうしゃすぺーす くるま と しょくいん たい 障害者用の駐車スペースに車を止めた職員に対して聴覚障害者が注意喚起したところ、口論となった。</p>		<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能 しえんしゃ (支援者)</p>
76	<p>たくしーじょうしゃ さい てちょう み とたん うんでんしゅ たいど タクシー乗車の際、手帳を見せた途端運転手の態度・口調が変わり、あからさまに対応が違う。</p>	<p>しょうがいしゃ りかい がくしゅう つ 障害者を理解するための学習を積んで欲しい。</p>	
77	<p>でんしゃ なか じへいしょう おも せいねん じょうしゃ 電車の中で自閉症と思われる青年が乗車したら、周囲の人が慌ててよけた。</p>	<p>しょうがっこう きょういく なか 小学校からの教育の中で、きちんと障害の理解ができるようにしていく。</p>	<p>ちてき しえんしゃ 知的(支援者)</p>
78	<p>くるまいすせんよう すろーぷ ねが えきいん たいど 車椅子専用のスロープをお願いしたところ、駅員の態度が非常に悪かった。</p>	<p>でんしゃ しょくいん しどう てっぺい 電車の職員の指導の徹底を!</p>	<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能 しえんしゃ (支援者)</p>
79	<p>てんじぶろっくせつちばしよ へいぜん ちゅうしゃ じてんしゃ 点字ブロック設置場所に平然と駐車している自転車が</p>		<p>しかく 視覚</p>

	おお み 多く見られる。		
80	でんしゃ ざせき ほんにん すわ じょうきやく きより すわ 電車の座席で本人と座ると、乗客が距離をあけて座り ちかよ ふんいき 近寄らない雰囲気があった。		ちてき しえんしゃ 知的（支援者）
81	えき かいさつき きっぷ い ひょうじ 駅の改札機でキップを入れたあと「こども」が表示されるので、 ほか ひとたち へん おも しょう おも 他の人達が変に思う。「障」とかがいいと思う。		ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能
82	てんじぶろっく せつちばしょ へいぜん くるま ちゅうしゃ 点字ブロック設置場所に平然と車を駐車しているのが めだ 目立つ。		しかく 視覚
83	せいしんかびょういん にゅういん ちじん あ たくしー 精神科病院に入院している知人に会うためにタクシーに の い さき い み びょういん 乗って行き先を言ったら、じろじろ見られ「病院じゃなくて、その ちか い 近くに行くんですよね。」と言われた。		
84	のんすてっばす じょうきやく くるまいす の ノンステップバスで、乗客に『なんで、車イスで乗るのん！ せま じかん は でき 狭いのに』『時間かかるなあ！早よ出来ひんのか！』など言われた。 あめ とき かつば き ほか きやく めいわく 雨の時はカッパを着るので、他の客に迷惑をかけないように、 で や ばす の ほどう くるまいす い 出かけるのを止めるか、バスに乗らずに歩道を車イスで行く。		したい 肢体 ほんにん かぞく （本人と家族）
85	えれべーたー の の えんりょ エレベーターに乗りづらかったり、乗れなかったり、遠慮すること おお くるまいすよう えれべーたー かがみ つ が多い。車イス用のエレベーターには鏡が付いているのに、そ かがみ かつよう おお の鏡を活用できないことも多い。		したい 肢体 ほんにん かぞく （本人と家族）
86	ほどう ひろ くるまいす とお せいび もっと歩道を広く、車イスが通れるように整備してほしい。	じてんしゃ せいび 自転車の整備	したい しえんしゃ 肢体（支援者）

87	<p>つうじょう ひと あし わる ぜんもう ちか しりょく つえ りよう 通常の人より足が悪く、全盲に近い視力で杖を利用しているが、 ほーむ かいだん つうこうにん こい かた ホームや階段で通行人から故意に肩をぶつけられたり、 また、 こい おも ちから あし ふ 故意としか思えないぐらいの力で足を踏まれる。</p>		<p>しかく 視覚 (友人)</p>
88	<p>ばすてい ま とき じろじろ へるぱー バス停で待っている時、ジロジロとながめられる。ヘルパーさんと いっしょ とき おな あ 一緒の時も同じことが有る。</p>		<p>ちてき かぞく 知的 (家族)</p>
89	<p>なんちょうしゃ したい しかくしょう しゃ がいしゅつ えき 難聴者と肢体・視覚障がい者が外出すると、駅 かかりいん てんいん ある なんちょうしゃ かなら たず 係員や店員など、歩いている難聴者に必ず尋ねる。 わた いた うむ しょうひん うむ こうにゆう したい わたし ひつよう 渡り板の有無や商品の有無・購入は肢体の私が必要と するのに、 わたし たず な 私に尋ねることはまず無い。</p>		<p>しかく 視覚 ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能 したい 肢体 ほんにん かぞく (本人と家族)</p>